

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)CHARM PREMIER 鎌倉山 新築工事	階数	地上3階
建設地	鎌倉市鎌倉山三丁目660番1ほか1筆の一部	構造	RC造
用途地域	第1種低層住居専用地域、防火指定なし	平均居住人員	69人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年7月 予定	評価の実施日	2018年10月30日
敷地面積	7,881㎡	作成者	株式会社IAO竹田設計 大阪第三事務所
建築面積	2,055㎡	確認日	2018年10月30日
延床面積	3,874㎡	確認者	株式会社IAO竹田設計 大阪第三事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
起伏に富み、緑あふれる周辺環境の中でも、高台に位置するシンボリックなロケーションを有する立地特性と、山並みに沿った現況地盤を生かし、地形のラインに逆らわない建築のボリュームと、緑と丘と海をキーワードに、さりげない存在感の中にも、周辺環境に対して主張しすぎない佇まいに配慮した。		高低差に富んだ敷地特性を生かし、1階と2階が共に接地する建築計画とし、避難と救助の両方の側面に配慮した。また、棟内に3箇所の階段を設置すると共に、東西に1か所ずつの降下型の避難機を設置し、避難弱者であっても効率的かつ安全な避難活動を行うことができるよう配慮した。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
居住性を考慮し、音・熱・光・空気環境に配慮した。また、F☆☆☆☆を使用し、汚染物質発生に配慮している。	老人福祉施設ということで空間のゆとりを十分確保している。内装材についてはメンテナンスが容易な材料を用いている。	従前の敷地の状況を継承し、建築計画に支障のない範囲の既存緑地を出来得る限り保存し、空地率70%を超える敷地内に、緑地帯をふんだんに設け、周辺への環境に配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明を採用し、環境への負荷低減を図った。	躯体と仕上材が分別可能な納まりとしている。	荷ほだき用の駐車スペース確保。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される